

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	古美術研修	専任教員、北 進一	1単位 24時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。(等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など)</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともあります。現地で間近に見るのは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	東京から京都へ新幹線で移動 南禅寺特別拝観見学		
2	南禅寺特別拝観見学		
3	智積院宝物庫見学		
4	大徳寺特別拝観見学		
5	平等院、法界寺見学		
6	醍醐寺見学		
7	広隆寺、東寺見学		
8	京都から東京へ新幹線で移動		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>研修の参加を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義形式を基本とする。研修に参加しない学生には作品課題を制作して提出。 和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。主にアジア各地域の仏教美術の変遷を追究している。 著書に『ほとけを知る一仏像めぐりハンドブック』（シンコミュージック・エンターテイメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。</p>			

## 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	フランス語II	内田雅之	2単位 37.5時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
フランス語1の修了者を対象として、一年次に習得した基礎力を基盤としながら会話表現・文法の両面での知識を広げていきます。また、少しずつ書かれたものを読む練習も行います。			
<b>【講義概要】</b>			
前期は、まず問題練習などを通じて、書くという別観点を少し意識しながら昨年の復習を行います。その後複合過去、単純未来へと文法面で次のステップへと移っていきます。後期は、フランス旅行の機会を想定して、オリジナルのフランス旅行のしおりを作成していく課題が課され、校内展示の機会を設けます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	講義
6	講義	22	講義
7	講義	23	講義
8	講義	24	講義
9	講義	25	講義
10	講義	26	講義
11	講義	27	講義
12	講義	28	講義
13	講義	29	講義
14	講義	30	講義
15	講義	31	講義
16	中間試験	32	後期試験
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>期末ごとに試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1969年福岡県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科仏文専攻修士課程修了。多摩美術大学非常勤講師。また俳優養成所を経て映画・舞台に出演、受賞作多数。またTHEATRE茶房の冠でプロデュースも行ない、ギャラリー・プリントでの『クロワゼ』公演、朗読、ミュージシャンやビデオアートとのコラボレーションなど活動の幅を広げている。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	特別講座/就職セミナー	ゲスト講師	1単位 21時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。</p> <p>就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>7/11(土)就職セミナー1(卒業生)、7/28(火)就職セミナー2(岡山)、9/4(金)2限目古美術研修講座、9/26(土)同窓会特別講座、10/7(水)知的財産権(山本)、10/17(土)就職セミナー3(アイデム)、12/12(土)創形展特別講座*日程は出講表を確認すること。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	就職セミナー1		
2	就職セミナー2		
3	古美術研修講座		
4	同窓会特別講座		
5	知的財産権講座		
6	就職セミナー3		
7	創形展特別講座		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。</p> <p>なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。</p> <p>合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とする。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年留学生・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	日本語能力試験N1対策	蔣 燕萍	2単位 63時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>①日本語能力試験N1に合格できる力を付けること。            ②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	17	講義
2	講義	18	講義
3	講義	19	講義
4	講義	20	講義
5	講義	21	試験
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	講義		
13	講義		
14	講義		
15	講義		
16	講義		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。            なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。            合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。            中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。            2014年4月株式会社アイデム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をトータルサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生教育に携わる。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年留学生・前期/後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択学科	美術日本語	メロス言語学院講師	2単位 36時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。			
<b>【講義概要】</b>			
1.1分間スピーチ（30分） 2.美術関係記事についてのディスカッション（50分） 3.映像教材を用いた美術用語導入（90分） 4.前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分） 5.課外宿題			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	講義		
3	講義		
4	講義		
5	講義		
6	講義		
7	講義		
8	講義		
9	講義		
10	講義		
11	講義		
12	試験		
<b>【成績評価方法】</b>			
試験を行い100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
講義・ディスカッション形式を基本とするが、各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポスターイラスト	高橋庸平	3単位 84時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラストレーションの制作技術と理論を「イラストレーションとは何か?」「自己とは何か?」「表現とは何か?」の3つをキーワードに学習します。			
<b>【講義概要】</b>			
自画像を用いて、個展を想定したポスター(B1サイズ)のデザインを行ないます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・課題説明	21	講義③「伝えること」・制作チェック
2	制作	22	制作
3	制作	23	制作
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作	26	制作
7	講義①「描くこと」・制作チェック	27	制作
8	制作	28	講評会
9	制作		
10	制作		
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	講義②「表現すること」・制作チェック		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1981年千葉県生まれ。2019年多摩美術大学大学院美術研究科博士後期課程美術専攻修了、博士号取得。 主な受賞にFUKUDAポスター大賞2005最優秀賞、日本ブックデザイン賞2016ブックジャケット・文庫版部門 金の 本賞、モスクワ国際グラフィックデザインビエンナーレ2016Golden Bee賞(ロシア)、グラフィスポスター年鑑 2019銀賞(アメリカ)ほか。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	イラストレーション個性と現場	飯田 淳	2単位 36時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラスト技法実習1の概要を引き継ぎ、より実践的なオリジナリティーある完成度の高い作品を数多く制作する。			
<b>【講義概要】</b>			
実践的な技法と表現力を生かし、現実的な仕事の現場で通用する完成度を持った個性的な作品を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	制作指導		
3	制作指導		
4	課題作品講評		
5	制作指導		
6	制作指導		
7	課題作品講評		
8	制作指導		
9	制作指導		
10	課題作品講評		
11	制作指導		
12	講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈSCollection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストダイアリー。『an・an』『クロワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『パルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	特別授業イラスト表現	谷口広樹	1単位 18時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
ただ自身の好きなものを描くのではなく、目的に合う自分の表現のための演出力と創造性を身につける。			
<b>【講義概要】</b>			
季刊誌の表紙のイラストレーションを制作する および 各授業毎に課題を課し授業内で制作をする。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題出題および授業内制作1		
2	授業内制作2		
3	中間チェックおよび授業内制作3		
4	授業内制作4		
5	最終チェックおよび授業内制作5		
6	課題プレゼンテーションおよび講評		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター、グラフィックデザイナー、画家。イラストレーションや絵画はもとより、絵画思考を中心に据えたグラフィックデザイン等、ジャンル、カテゴリーにこだわらず独自の世界観を展開。広告、出版、店舗装飾、壁画、プロダクト商品など、活動のフィールドは多岐にわたる。			



# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	雑誌表紙イラストレーション	マツモトヨーコ	3単位 93時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラストレーション制作においては、描く技術だけでなく、イメージを発想する力も必要不可欠なものである。これらの能力および個性を磨くことを目標とする。			
<b>【講義概要】</b>			
与えられたいくつかのテーマをもとにイラストレーションを制作する。ラフスケッチを制作、講師に提出し、カウンセリングを受けた後、イラストレーション制作にうつる。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	制作
2	制作	22	制作
3	制作	23	最終チェック、修正点の確認
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作	26	制作
7	個別面談。さらに詳しいラフ制作。	27	制作
8	制作	28	制作
9	制作	29	制作
10	制作	30	制作
11	制作	31	講評会
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	中間チェック		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1984年京都市立芸術大学院版画専攻修了。画家。イラストレーター。エッセイ+イラスト集『偏愛京都』出版(2010年小学館)。多摩美術大学非常勤講師。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	企画イラストレーション	堀内恭司	3単位 99時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
イラストレーション制作においては、描く技術だけでなく、イメージを発想する力も必要不可欠なものである。これらの能力および個性を磨くことを目標とする。			
<b>【講義概要】</b>			
得意とする画材、素材に時間をかけて向き合います。得意技を意識しイメージを形にする力、定着力を身につけます。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	制作
2	制作	22	制作
3	制作	23	試行チェック
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作	26	制作
7	企画チェック	27	制作
8	制作	28	制作
9	制作	29	制作
10	制作	30	制作
11	制作	31	制作
12	制作	32	制作
13	制作	33	講評会
14	制作		
15	制作		
16	試行チェック		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 1963年生まれ。1990年東京芸術大学大学院美術研究科修了。サントリー株式会社宣伝部、(株)サン・アドを経て2007年(株)パニリムンク設立。広告電通賞POP部門賞、日本雑誌広告協会 金賞他、受賞多数。現在、相模女子大学、文化学院女子大学非常勤講師。群馬大学理工学府天谷研究室デザインアドバイザー。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	絵本	上田三根子	3単位 90時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
仕事に通じるイラストレーションとは？			
<b>【講義概要】</b>			
講師の実際の仕事を紹介しつつ、仕事に活かせるイラストレーションとは何かを、実技を通して制作、講評。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	講師自己紹介、各自ポートフォリオ批評 作品制作にあたってのガイダンス	21	制作チェック
2	制作	22	制作
3	制作	23	制作
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作	26	制作
7	制作チェック	27	ブラッシュアップ
8	制作	28	ブラッシュアップ
9	制作	29	ブラッシュアップ
10	制作	30	講評会
11	制作		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作チェック		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 イラストレーター。埼玉県生まれ。セツ・モードセミナー在学中から仕事を始め、卒業後フリーに。広告、雑誌、装丁、キャラクターデザインなどの幅広い分野で活動。 主な仕事に、LION『キレイキレイ』キャラクターデザイン、SONYプレイステーション用ソフト『ぼくのなつやすみ』シリーズキャラクターデザイン、NHK『今日の料理』『おしゃれ工房』オープニングタイトルなど多数。			

## 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2020年度	3年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	卒業制作	山本哲次、 岡山拓史、 飯田 淳	16単位 447時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
創形で学んだ3年間の集大成として、自身の表現の領域に於けるクオリティを追求しつつ、卒業制作としてふさわしい、社会性を意識した完成度の高い作品を制作します。そのうえで校内外の卒業制作展で発表することを目標とします。プロのクリエイターとして充分通用する表現を求めます。			
<b>【講義概要】</b>			
各専攻の専任教員の個別指導に従い、コミュニケーションを大切にしながらゼミ形式での授業を行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、個別指導		
6	～10 制作、個別指導		
11	～15 制作、個別指導		
16	～20 制作、個別指導		
21	～25 制作、個別指導、中間チェック		
26	～30 制作、個別指導		
31	～35 制作、個別指導		
36	～40 制作、個別指導		
41	～45 制作、個別指導		
46	～50 制作、個別指導、中間チェック		
51	～55 制作、個別指導		
56	～60 制作、個別指導、ポートフォリオ指導		
61	～65 制作、個別指導、ポートフォリオチェック		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
86	～90 制作、個別指導		
91	～95 制作、個別指導		
96	～100 制作、個別指導		
101	～105 制作、個人面談		
106	～110 制作、個人面談		
111	～115 制作、個人面談、ポートフォリオチェック		
116	～120 制作、個別指導		
121	～125 制作、個別指導		
126	～130 制作、個別指導		
131	～135 制作、個別指導		
136	～140 制作、個別指導		
141	～145 制作、個別指導		
146	～149 制作、プレゼンテーション、合同講評会		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、総合評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
山本 哲次：1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、りそな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエンナーレヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会 (D-8) JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。 岡山 拓史：1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。 飯田 淳：1955年東京都生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。『HERMÈS Collection Homme Automne-Hiver 2008 INVITATION』のイラストレーション。『THE CONRAN SHOP』07と08のオリジナルイラストグアイアリー。『an・an』『クワッサン』『クーネル』など、多数の女性誌イラストレーション。雑誌『GINZA』のロゴデザイン。原宿のハンカチーフショップ『バルトゥーズ』をプロデュース。TIS会員。			